

人類学演習 IV 談話会

日時：12月4日（金） 16:30～18:00

場所：理学部2号館402号室

<講演者>

高橋 伸幸先生

(北海道大学文学研究科)

<講演テーマ>

「意図せざる結果としての規範の実効化」

<要旨>

人間社会のみに見られる3者以上の集団における社会秩序がいかんして成立するかは、社会科学の根本問題である。この問題の理論的定式化はこれまで、大きく分けて2通りなされてきた。一つはN人囚人のジレンマ状況での相互協力状態をいかに達成するか、もう一つはN人一般交換をいかに成立させるかである。しかし、現時点ではどちらにおいても、理論的な解答と人間の実際の行動との間に不整合がある。即ち、理論的な解決策はどれも高度に認知的な処理を必要とするものばかりであるが、人々はデフォルトではそのような行動をとらないことが明らかになっているのである。本発表はこれに対し、これまであまり焦点となっていなかった、人々が埋め込まれている社会的相互作用の構造に着目し、特定の構造を前提とすると、認知的負荷が低いままで人々がとる行動が意図せざる結果として理論的解決策と合致し、規範が実効化される可能性を指摘する。これにより、理論研究と実証研究との間の不整合が解消されることが期待される。

今後の予定

12月11日 石田研

担当：佐々木智彦（近藤研）